



2024～2025年度
国際ロータリー第 2550 地区
第一グループ

Intercity Meeting



2024～25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック

ホスト 黒磯ロータリークラブ
ガバナー補佐 稲垣 政一

2025年 2月 9日(日)
グランドメルキュール那須高原リゾート&スパ

地区スローガン

ご挨拶



第 2550地区ガバナー 市田 登

国際ロータリー第2550地区第1グループIMが多くの皆様に参加いただき開催されることを心よりお慶び申し上げます。また、ホストクラブである黒磯ロータリークラブの皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。IMは、各グループの会員の研修と親睦を目的として開催されるものです。今年度も当初の目的が達成されますようご期待申し上げます。

さて本年度ステファニーA・アーチックRI会長のテーマは、「The Magic of Rotary ロータリーのマジック」です。魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで、会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらす訳ではなく、プロジェクトを終えるたび、寄付をするたびに、新会員を迎えるたびに、マジックを生み出すと、そして多くの人々を救う、ロータリーの力を認識して、これらを更に広げようと、おっしゃられました。

そして今年度 RIのテーマ「ロータリーのマジック」の具現化に向けて地区のテーマを「ロータリーを楽しもう」をかかげました。ロータリーを楽しむためには、まずは参加し、交流し、行動を起こすことが「ロータリーのマジック」に繋がると思います。

本日それぞれのクラブが、特徴を活かし、実施なされた事業これから実施なされる事業「ロータリーのマジック」を発表されることと存じます。

この IMで、各クラブの工夫や魅力及び活動等、知識を広めると共に、より一層の懇親と交流を深めて、明日からのロータリーライフをより楽しんで頂ければ幸いです。

そして稲垣政一ガバナー補佐のリーダーシップにより、地域社会への奉仕活動「ロータリーのマジック」をしっかりとアピールを続けていくことによって、ロータリーの存在感がさらに高くなると思います。

この IMで第1グループの皆様が親睦を深め、貴グループが益々発展していくことを祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



プログラム

- 司会 SAA 秋間忍
- 開会・点鐘 ガバナー補佐 稲垣政一
- 国歌・ロータリーソング斉唱 リーダー 石山桂子
- 開会の言葉 実行委員長挨拶 実行委員長 高木慶一
- 歓迎の言葉 黒磯ロータリークラブ会長 藤崎善隆
- 来賓・クラブ紹介 ガバナー補佐 稲垣政一
- ガバナー補佐挨拶 ガバナー補佐 稲垣政一
- 来賓挨拶 RI2550地区パストガバナー 森本敬三
RI2550地区ガバナーノミニー 高橋智純
- クラブ上半期報告 大田原RC 幹事 吉川秀之
黒磯 RC 会長 藤崎善隆
西那須野 RC 会長 太田 仁
黒羽 RC 会長 坂本 瞭
大田原中央RC 会長 藤田善幸
- 講演会 演題「ビジョン声明とロータリー財団」
ロータリー財団部門 カウンセラー財団委員長 森本敬三
- お礼の挨拶 ガバナー補佐 稲垣政一
- 次期ガバナー補佐紹介 ガバナー補佐 稲垣政一
- 次期ガバナー補佐挨拶 次期ガバナー補佐 渡邊 渉
- 次期IM開催クラブ挨拶 次期西那須野RC会長 月井美好
- 閉会の言葉 IM実行副委員長 鈴木隆子
- 閉会・点鐘 ガバナー補佐 稲垣政一

懇親会

- 司会 和気勝利
- 開会挨拶 ガバナー補佐 稲垣政一
- アトラクション 黒磯高校吹奏楽部の皆さん
- 乾杯 次期ガバナー補佐 渡邊 渉
- ソング「手に手つないで」
- 締め 黒磯ロータリークラブ会長 藤崎善隆

開会の言葉



IM実行委員長 高木慶一

開会前にお詫びしたいことがございます。西那須野ロータリークラブから輩出の高橋智純ガバナーノミニが24ヶ月前に就任するのを12ヶ月前と勘違いして、まだ今日は就任してないと思って紹介だけにしてしまいました。年に一度のIMが絶好の周知する良い機会でしたのにプログラムに未掲載となってしまいました。お詫び申し上げます。

それでは、只今からRI2550地区第一グループ稲垣政一年度インターシティ・ミーティングを開会いたします。

歓迎の言葉



黒磯RC 会長 藤崎善隆

本日国際ロータリー第2550地区、第一グループインターシティミーティング開催にあたり、高橋智純ガバナーノミニ、森本敬三パストガバナー、第一グループ各クラブ会員の皆さまを心より歓迎申し上げます。併せて、ご多用の中ご出席賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍を経て我が国のみならず世界全体の様々な変化が加速しているように感じます。更にロシアによるウクライナ侵攻や中東問題など世界情勢の不安も増しており、先日米科学誌「ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト」が発表した、地球滅亡まで残された時間を示す「終末時計」の時刻は、昨年より1秒進み残り89秒とされました。日本被団協がノーベル平和賞を授賞したのはこうした世界の危機感を逆に反映した故かも知れません。因らずも今月は、「平和構築と紛争予防月間」であります。ロータリーも奉仕を通じてブレることなく平和に貢献してゆくべきものと考えます。

こうした様々な変化の中で、ロータリーそのものも揺るぎない変わらぬ柱を守りつつ、変化に対応していかなければならないでしょう。これまで単年度で活動してきたロータリーが、「3年計画」を掲げるようになったのもその一つです。その中核となるものが「ビジョン声明」であり、本日森本パストガバナーにご講演をいただきます。変化の少ない安定した場所は、居心地の良いものでありますが、それだけでは維持し続けるのは難しいものです。伝統とは常に革新に支えられて存続できるものとも聞きます。

本日のインターシティミーティングは、第一グループの皆さまとロータリーの未来について語り、展望を拓き、そして懇親を深める良い機会になるよう願っております。

地元クラブを代表いたしまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐挨拶



第1グループガバナー補佐 稲垣政一

皆様、本日はお忙しい中、国際ロータリークラブ、第2550地区、第1グループIMにご参加いただき、誠にありがとうございます。ガバナー補佐を務めております稲垣でございます。

まず初めに、皆様の日頃からのロータリー活動における多大なるご尽力に深く感謝申し上げます。また、本日この場にご参集いただいた会員の皆様、そして本IMの開催準備に尽力された実行委員会の皆様にも、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、本年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーのマジック」です。このテーマには、私たち一人ひとりが心を込めて行う奉仕の力が、思いもよらない素晴らしい成果を生み出し、多くの人々の人生に魔法のような変化をもたらす、という願いが込められています。

ロータリーの活動は、時に地道な取り組みの積み重ねではありますが、その一つひとつの行動が「人々をつなぎ、夢を叶え、困難に立ち向かう力を与えるマジック」へと変わります。そして、そのマジックは個人を超えて、地域社会、さらには国際社会へと広がり、より良い世界を築く大きな原動力となります。

特に本日のインターシティ・ミーティングは、クラブの垣根を越えて多くのロータリアンが集い、アイデアを共有し、共に新たな未来を描く場です。まさに、ロータリーのマジックが生まれる瞬間であると確信しております。

どうか皆様、本日の各クラブ会長による上半期報告、さらにロータリー財団部門カウンセラー・財団委員長である森本敬三様のご講演、そして懇親会を通じた交流を通して、奉仕の心を新たに、次なる挑戦への意欲を深めていただければと願っております。そして、「ロータリーのマジック」を信じ、共に素晴らしい未来を切り拓いてまいりましょう。

最後になりますが、本日のIMが実り多いものとなり、皆様の活動が一層発展することを心よりお祈り申し上げます。改めまして、本日はご出席いただき、誠にありがとうございました。

皆様のますますのご活躍をお祈りし、私のご挨拶とさせていただきます。



来賓祝辞



第2550地区グループノミニー 高橋智純

Intercity Meeting 盛会裡に開催されますこと、衷心よりお祝い申し上げます。

私は西那須野ロータリークラブの高橋です。昨年6月にデニグネートに推挙され、7月よりノミニーとして役を務めさせて頂いております。とは申せ浅学非才の私でございます。皆様のご支援・ご協力を頂きながら、日々努力精進して参りたいと思います。

来年の秋にはこの地域で地区大会を開催することになります。第1グループの皆様のご支援・ご協力がなければ、到底達成できるものでないと考えており、これから何かとお願いすることが多々あると思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。地区大会を成功させ、県北のロータリークラブ・ロータリアンが生き生きと元気になれるよう頑張っていきたいと思ひます。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



RI2550地区パストガバナー 森本敬三

皆様、こんにちは。

稲垣政一第一グループガバナー補佐主催によりますIM(インターシティーミーティング)にご招待いただき誠にありがとうございます。

本日のこのIMを通じて、各クラブ間での情報交換や課題解決のためのヒントそして相互の親睦を図っていただければと思います。

さて、今年度のRI会長テーマは「ロータリーのマジック」です。このマジックは皆さんが行う普段の地域奉仕活動が、あらゆるステークホルダーへその影響を与え、インパクトを高め、そして多くの参加者を巻き込みながら実践しているものと思います。つまり皆様は既にロータリーのマジックを行っている事になります。

今日は、その様な事などを勉強させていただき皆様と友情を深め、情報交換して参りたいと思ひます。

宜しくお願いします。

ありがとうございました。

総合司会



SAA 黒磯RC 秋間忍

国家・ロータリーソング斉唱



ソングリーダー 黒磯RC 石山桂子





大田原RC 幹事 吉川秀之

今年度の方針は「ロータリーもっとカッコ良く！」です。ロータリークラブがより魅力的なクラブになるための意識づけのスローガンです。

クラブの最優先課題は会員増強、会員増強3名を目標にスタートしました。年度初めに1名の女性会員が入会しました。7月のガバナー公式訪問時に入会式を行いガバナーからバッジを授与していただきました。幸先の良いスタートでしたが、1名が退会。上半期終了時点では総数変わらず会員19名(内女性会員1名増で計2名)です。主な主催事業としては

・社会人野球大会 ・学童女子ソフトボール大会 ・グラウンドゴルフ大会 ・キャッチボールクラシック栃木県大会

地区財団補助金事業としては

・小学生対象に運動用具(野球用具・ネットなど)の提供。

小学生の女子ソフトボールについては、学校単体でのチーム編成が難しくなっているようで複数の学校での混合チームで編成されています、出場チームも大幅に減少しています。それに比べ、グラウンドゴルフ大会の参加者は盛況のようで。少子高齢化をヒシヒシと身近に感じます。

キャッチボールクラシックは1月18日、大田原市の陸上競技場で開催されました。下野新聞の記事で掲載されましたが、出場選手や応援者を合わせ1000人を超える大イベントになり大変盛り上がりを見せていました。

下半期も引き続き、新会員2名を目標に会員増強取り組みます。また、出席率の低い会員に対しても例会に参加しやすい環境をつくっていききたいと思います。





黒磯RC 会長 藤崎善隆

2024-25年度発足にあたり、会員数33名でのスタートとなり、最大69名の会員数擁したときと比べると半数以下となりました。実働数は更に少ない現状の中、クラブ内各委員会の委員長職などについても人数的な制約が出る事態となり組織構築にも支障を来すこととなりました。

これまでも歴代会長、会員の努力により少しずつ対応してきて頂きましたが、私は少し思い切った判断をし、クラブ奉仕委員会の小委員会を11委員会から7委員会まで統合(兼任)として縮小致しました。当然会員の方にはそれぞれのご負担が増えるわけですが、何とか活動いただいているところです。少ない人数となった以上、活動を減らすか個人の負担を増やして維持するかを選択の内、後者を選んだことになります。

また、会員減を放置するわけにも参りませんので、少しでも会員獲得の機会を増やせればと、「夜間通常例会」という例会を行うこととしました。これまで親睦行事などの夜間例会は年7回行われておりましたが、この夜間例会のない月に通常昼に行われていた例会を夜に行うものとし、毎月一度は夜間の例会になるようにしたものです。あくまで昼の例会時間をずらしただけです。費用等はそのまま変わりませんが、例会場にご協力頂き当日の別料金でアルコールなどの提供もしていただけるようにしました。これは特に若い会員候補者が、夜間の方が参加し易いであろうとの声があったこと、また例会後の食事会という形を取ることでゆっくり会員間の会話が出来て懇親が深まるのではと考えたからです。

こうしたことは私が新参者故に先輩方にムリを申し上げ受け入れて頂いたもので、今後その効果などを検証しつつ修正を行って頂ければと思っております。

クラブの活動と致しましては、地区補助金を活用した中学校へのテント寄贈や那須塩原市駅伝大会への協賛、稲垣政一ガバナー補佐の下那須塩原駅前でのポリオ撲滅キャンペーン参加などを行いました。能登水害への義援金協力、子ども食堂への物資支援なども行っております。また、親睦行事として数年ぶりに東京方面への移動例会を行い、クリスマス会や新年会などの恒例行事も無事に行われております。特に新年会では、インターアクトクラブを通じてご縁のある黒磯高校より吹奏楽部の皆さんに演奏を頂きました。本日この後もお越しいただいておりますので、楽しみにしていただければと思います。

今後那珂川の水質調査や足尾植樹、保護司会などの団体への支援が予定されております。手探りのところも多々ございますが、少しでも良い活動が出来るよう努力して参りますので、ご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。



各クラブ上半期報告 西那須野RC



西那須野RC 会長 太田 仁

今年度、西那須野RCの会長を務めています、太田仁です。現在、西那須野RCは会員数44名です。
上半期、主な活動報告をいたします。

7月13日(土)

西那須野ふれあい祭り 参加 売上金の一部を那須特別支援学校に寄付

10月12(土)

アジア学院収穫祭 参加

当日は西那須野中学校生徒3名と三島中学校生徒13名もボランティアとして参加していただき物販品や昼食販売の配膳等、ご協力いただきました。

当クラブでは水ヨーヨー釣りを行ないました。

11月2日(土)

氏家養護園・養徳園の児童を那須どうぶつ王国に招待

当日はあいにくの小雨でしたが、昼食のバーベキュー食べ放題もあり児童たちは大変喜んでくれました。(総勢95名)

11月6日(水)

姉妹クラブである桃園RC63周年記念式典に参加 会員、奥様総勢11名

11月26日～12月4日

家庭集会 6班に分かれて実施

令和7年2月1日(土)

第31回那須野ヶ原剣道大会(県内中学校生が参加)を共催

当クラブでは平成3年度より那須野ヶ原剣道大会を青少年の健全育成として賛同し協賛しています。

2026-27年度は当クラブより高橋智純ガバナーが選出されます。

地区大会等、お手伝いをお願いすると思いますので、宜しくお願い致します。





黒羽RC 会長 坂本 瞭

皆さんこんにちは。

黒羽クラブ会長の坂本でございます。よろしくお願い致します。当クラブは今年で創立50周年を迎えました。

会員6名の少数クラブですので、周年記念行事を行うことは考えておりません。そんな中チャーターメンバーの車田会員が去年の12月をもちまして、長寿のため家族の申し出により退会されました。

少数クラブですので何も出来ませんが、地区と第1グループの事業に参加しながら、毎月4回の例会を親睦と情報交換を基本として行なっております。

いつまで続くかわかりませんが、出来る限り頑張っていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



各クラブ上半期報告 大田原中央RC



大田原中央RC 会長 藤田善幸

(例会報告)

- ・月2回の例会を実施 1日が昼例会 1日が夜間例会になります。

(活動報告)

- ・第29回大田原中央ロータリークラブ旗争奪小学生女子ソフトボール大会(2024.8.3)
- ・第37回大田原市民剣道大会 協賛 (2024.10.12)
- ・ザゼン草群生地環境保全活動参加
- ・ポリオ撲滅チャリティー(与一まつり)募金活動(2024.8.2-3)

(奉仕活動強化)

- ・現在、各自治会への奉仕活動を強化するため、各地区協議会議に積極参加。

※交換留学生(ディエゴ君)ホストクラブとして活動

2024.8.21～2025.6末予定

- ・那須拓陽高校1学年在籍・サッカー一部在籍

日本のアニメ文化に興味あり、将来は獣医さんになる為に勉学中

⇒日本で開業も考え始めています。



講演 演題「ビジョン声明とロータリー財団」



ロータリー財団部門カウンセラー・財団 森本敬三

皆さん、こんにちは！

2024-25年度地区ロータリー財団委員長を仰せつかりました大田原中央ロータリークラブ所属の森本でございます。

稲垣ガバナー補佐主催によりますIM(インターシティーミーティング)に於きまして、お話する機会をいただきましてありがとうございます。

今日は、二つの内容でお話させて頂こうと思っています。

先ず、初めにロータリー財団についてお話ししたいと思います。

本年度、市田ガバナーは、財団の目標を年初に発表致しました。その発表を受けて地区財団委員会は地区内ロータリアンの皆様にその具体的な数値をお伝えしています。

つまり、年次基金にお1人150ドル、ポリオにお1人30ドルの寄付のお願いです。皆様もご存じの通り年次寄付は3年間運用され、その元金の半分が地区に戻され、その半分が地区財団活動資金(DDF)として、残りの半分が地区補助金の原資として地区内各クラブの地域奉仕活動として活用されます。

後程お話ししますが、ロータリークラブの大きな柱として奉仕活動が有ります。

皆様にお願ひがあります。年次寄付へのご寄付は、出来るだけ上期つまり財団月間(11月)の時にお願い致します。

また、ポリオの感染状況ですが、85年に国際ロータリーが取組み始めて40年経過して、ようやく2か国になりました。ロータリーでは40年間皆様に訴え続けて来たわけですが。ロータリー歴の永い方は耳にタコが出来程ポリオ寄付について聞いてきています。

ですが、「あと少し」ですのでお1人30ドルのご寄付をお願いします。

財団では、その他いろいろな寄付の認証を設けています。

例えば、ポリオ根絶のためのポリオ・プラス・ソサエティー(PPS)が有ります。これは年間100ドルの誓約をして頂いた方に差し上げるものです。当第1グループでは、私と西那須野クラブの益子さんの2人だけなのです。

また、ポール・ハリス・ソサエティー(PHS)が有ります。この認証は毎年1,000ドル誓約された方です。地区では24名の方がPHSですが、第1グループでは先程の2名です。

または、冠名寄付やメジャードナー等奉仕活動の原資は多岐にわたり用意されていますので是非ご検討お願い致します。

時間の関係で、冒頭にお話ししましたもう一つのお話をさせていただきたいと思っています。

国際ロータリーでは、2019-20年度に5カ年計画を発表しビジョン声明を発出致しました。今年度が最終年になりますが、延長されることが発表されました。

後は、パワーポイントでご説明申し上げます。

GROW ROTARY

(成長するロータリー)

世界を変える行動人 ロータリーの行動計画

3、参加者の積極的なかわりを促す

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- ・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- ・個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- ・リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

ビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

4、適応力を高める

- ・研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育むため、ガバナンスを見直す

4つの優先事項

1、より大きなインパクトをもたらす

- ・ポリオを撲滅し、残された遺産を活用する
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

クラブが成功するための秘訣

- ・どのクラブにとっても成功に必要なことが一つあります。それは「目標を立てること」です。しかも、それは次年度の計画にとどまりません。
- ・将来の計画を立てることは、クラブに方向性と目的を与えることです。「会員を増やす」「奉仕プロジェクトを実施する」「クラブでの会員の体験を向上させる」など、目標の設定は会員のモチベーションを高め、共通の目的に向かって活動するきっかけを生み出します。

2、参加者の基盤を広げる

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ・ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める
- ・活動成果とブランドに対する認知を築く

- ・「ロータリークラブ・セントラル」は、ロータリークラブとローターアクトクラブが活動計画を立て、目標の設定と進捗確認を行うのに役立つツールです。クラブのリーダーが目標と達成を記録できるほか、会員が活動の進捗状況を確認できます。次年度以降のリーダーも、クラブの過去の目標を参照した上で、その情報を基にクラブの将来を計画し、今後3年間の目標を設定できます。

どこから始めればよいかわからない場合には、以下の点について考えてみましょう。

- 年度末までにクラブの会員数を何名にしたいか。2年後には何名にしたいか。
- 奉仕プロジェクトに何名の会員に参加してもらいたい。
- クラブには最新の戦略計画があるか。
- クラブからロータリー財団にどのくらい寄付したいか。
- 地元での公共イメージを高めるにはどうすればよい。
- 会員にクラブでどのような体験をしてもらいたい。
- 協力できる地元団体はあるか。
- クラブの将来の計画を立て始めるのに遅すぎることはありません。ロータリークラブ・セントラルを今すぐ訪れ、早速始めましょう。

• 3年間の目標を項目に従って入力しておきましょう。その後クラブ内でよく協議して、理事会等の承認を経て会員全員で共有することが大切です。（継続性）

3-Year Rolling Goals

- プログラムの評価を2027年から2028年にかけて行います。
- 3年間の目標設定の具体的項目は「行動計画（方針）」の4つの優先事項に基づいています

- 【クラブ戦略計画の立案】
- 3年間の目標を立てたら、戦略計画立案ガイドに沿ってクラブの3年間の戦略計画を立てましょう。
- 【目標設定の見直し】
- 毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標と戦略計画を再設定（Rolling Goals）して下さい。また、4半期ごとに進捗や達成度の管理を行ないましょう。
- 【クラブ行動計画推進リーダーの選任】
- クラブはこの目標の達成をより推進するために「クラブ行動計画推進リーダー」を選任してください。

- 3年間の目標を設定するためには、クラブ戦略計画委員会、理事会、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。

クラブの調査と基礎知識の習得

- クラブの健康チェック
- 会員の満足度調査
- ラーニングセンターで知識をさらに深めましょう。

クラブセントラルへの次年度目標入力

- 3年間の目標入力と管理は、クラブセントラルでおこないます。クラブセントラルは現在RIによって3年の目標が設定できるように改変中ですので、まずは次年度の目標を入力しましょう。（次のステップの「3年間の目標フォーマット」によって変更が出た場合は再度入力し直すことが可能です。）

ご清聴ありがとうございました。

以上、パワーポイントでお示したのは一部です。

ロータリーが誕生して120年経ちます。世界は当時とは比べるまでもなく大きく変化しています。進化は伝統を守るものといえます。

ロータリーの伝統とは旧態依然とした秩序を守り続ける事ではなく、今までの流れの上にさらに、何か新しいものを生み出そうとする努力によってのみロータリーの伝統は守られる。と思っています。進化というものは、何か新しいものを生み出そうという努力。といえます。何か新しいものを生み出そうとする力が無ければ、ロータリーの伝統は守れない。

皆様

是非、先輩が培ってきましたクラブに活力が生まれます様、会員増強に、奉仕活動に邁進していただきます様お願い致します。

謝辞・次期ガバナー紹介



第1グループ ガバナー補佐 稲垣政一

森本敬三様、本日はご多忙の中、私たち第2550地区第1グループのIMにご臨席いただき、誠にありがとうございました。また、「ロータリーのビジョン声明とロータリー財団」に関する大変貴重なご講演を賜り、心より御礼申し上げます。森本様のお話を通じて、私たちが今後果たすべき役割について改めて深く学ぶことができました。本日も講演いただいた内容を胸に刻み、クラブ一同、より一層の奉仕活動に邁進してまいります所存でございます。

森本様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

続きまして、次年度のガバナー補佐をご紹介します。西那須野ロータリークラブ所属の渡邊 渉様です。

渡邊様は、長年にわたりロータリー活動に尽力され、クラブの発展や地域社会への奉仕に多大な貢献をされてこられました。その豊富な経験と卓越したリーダーシップが評価され、次年度の第2550地区第1グループ ガバナー補佐に就任されることとなっております。

次年度は、グループ内のクラブの結束をさらに強め、ロータリーの理念のもと、さらなる発展へと導いてくださることと確信しております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

次期ガバナー補佐 挨拶



次期ガバナー補佐 渡辺 渉

2024～2025年度 国際ロータリー第2550地区 第一グループ Intercity Meetingが稲垣ガバナー補佐のご尽力の下に、ご盛会に開催されますこと、誠におめでとうございます。

I.Mとは、懇親等を通じた会員相互の友好、ロータリー活動に関する情報伝達や知識の向上を目的とし、近郊都市の複数のクラブが合同で開催する集まりです。この機会を利用して、会員同士大いに懇親を深め、意義あるI.M.の場にして頂きたいと思います。

本年度のRI会長ステファニーA・アーチックのテーマは「ロータリーのマジック」です。思うには会員の皆様が持っている心から思う事。会員一人ひとりが手に持っている資質、特色を十分に活かし、意義のあるクラブを築き上げること。これも「ロータリーのマジック」と思います。

本日は稲垣ガバナー補佐はじめ、黒磯ロータリークラブ会員の皆様、大変お世話になります。次年度は西那須野ロータリークラブがI.M.の開催地になります。

今日のI.M.を楽しませて頂き、次のI.M.の参考にさせて頂きたいと思います。会員皆様のご活躍を祈念し、挨拶と致します。

次期IM開催クラブ会長 紹介



西那須野RC 次期会長 月井美好

本日のintercityミーティング素晴らしい運営をお疲れ様でございました黒磯ロータリークラブさんの素晴らしい運営ありがとうございました、intercityミーティングは第一グループの皆さまと年に一度、各クラブの活動報告を行う大切な場所と思います各クラブの日頃の活動報告今後のクラブの運営に大変参考になりました、25-26年度は西那須野ロータリークラブがホストクラブとしてインターシティミーティング担当させていただきます、グループ内各クラブのご支援ご協力よろしくお願いいたします。

閉会の辞



IM副次以降委員長 鈴木隆子

本日はご出席頂きまして誠にありがとうございました。

只今をもちまして、国際ロータリー第2550地区第一グループインターシティミーティングを終了致します。
皆様のご協力を頂きまして、無事に有意義に終了出来ます事を心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。



第二幕 懇親会



開会の辞



第1グループガバナー補佐 稲垣政一

皆さま、本日は第2550地区第1グループのIMにご参加いただき、誠にありがとうございました。また、引き続き懇親会にもご参加いただき、心より感謝申し上げます。

本日のIMでは、森本敬三様をはじめ、多くの皆さまから貴重なお話をいただき、大変有意義な時間を共有することができました。こうして皆さまと共に語り合い、親交を深める場を設けられることを大変嬉しく思います。

ロータリー活動は、友情と信頼の中で築かれるものであり、このような懇親の場は、今後の活動の原動力となります。本日ご参加の皆さまの交流が、絆をより一層深め、さらなる奉仕活動の発展につながることを願っております。

また、本日はアトラクションとして、黒磯高校ブラスバンド部の皆さまによる素晴らしい演奏をご用意しております。若い皆さんの情熱あふれる演奏が、会場を一層盛り上げてくれることでしょう。どうぞ楽しいひとときをお過ごしください。

それでは、これより懇親会を開会させていただきます。

CHEERS ! 乾杯 ! SALUTI !



次期ガバナー補佐 渡辺 渉



黒磯高校 吹奏楽部 演奏会



会場風景



手に手を



2024～2025年度 第1グループIM実行委員会組織

実行本部

ガバナー補佐	稲垣政一
クラブ会長	藤崎善隆
クラブ副会長	安藤譲治
クラブ幹事	北畠大輔

IM実行委員会

IM実行委員長	高木慶一
IM実行副委員長	鈴木隆子
IM会計	時庭 稔
IM副会計	井上雅央



総務委員会		班名	班長	委員	委員	委員
委員長 北畠大輔	案内状進行表		吉光政雄	澤田吉夫	大島三千三	
	受付		鈴木久雄	黒沢洋一	相馬征志	村山茂
				田中徹	荒井品一	
	記録報告書		植竹一裕	鳥居輝一	瀧田雅仁	石川清英
	総合司会SAA		秋間 忍	井上雅央		
研修委員会		班名	班長	委員	委員	委員
委員長 鈴木隆子	会場設営		平山 博	荒牧明二	西根 聡	
	講演会					
	懇親会		石山桂子	和気勝利	西根 聡	金沢弘子
				佐藤 博	檜山達郎	
	来賓接待		稲垣政一	藤崎善隆	安藤譲治	

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？